

事業所名

スマイルケア（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

8年

4月

16日

法人（事業所）理念		誰もがありのままにその人らしく、その子らしく安心して笑顔で暮らせる地域社会の実現に利用児童一人ひとりのその子らしさや育ち、地域での暮らしの支援を行うことを目的とします。			
支援方針		私たちは対象になる方々に寄り添った伴走型の支援をします。 1、その子の個性を理解する 2、失敗しても批判されない、責められない安心できる環境 3、子どもの言いたいことを理解する努力 4、子どもにわかるように伝える工夫をする			
営業時間		10時00分から	18時00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	毎日の検温、手洗いなどを実施し、一人ひとりの健康な心と体を育て、健康で安全な生活ができるよう支援します。体調不良などの意思の表出が難しいため、表情や普段と違う様子を確認しながら健康管理を行います。 医療的なケアを要する場合は、医療的ケア委員会において、療育プログラムに参加できるよう検討を行うと共に、可能な医療的ケアを実施します。			
	運動・感覚	公園遊びやハンモック、バランスボールを用いて筋力の維持、強化を図りながら体などの緊張をほぐし、心地よくゆったりとしたスキンシップ、体と心の緩和を行います。 絵の具や粘土遊び等の活動を通し、物質の変化や感覚など本人がもっている五感で感じられるよう、遊びなどを通して支援します。 必要な補助具（歩行器等）の操作を獲得できるようにハビリなどで支援します。			
	認知・行動	感覚や認知の活用、視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用して必要な情報を収集し、認知機能の発達を促します。			
	言語コミュニケーション	簡単な挨拶や会話など、目の動きや指差し、身振り、サインなどを活用して円滑なコミュニケーションを行えるよう支援します。 好きなキャラクターなどの絵カードを使い、環境の理解や意思伝達を支援します。			
	人間関係社会性	個々の遊びから集団の遊びへの移行を促し、社会性の発達を支援します。 工作やイベント、お散歩などに参加し、意思を尊重しながら集団や個の活動を促していきます。			
家族支援		面談や連絡帳による日々のやりとりや必要に応じて電話連絡等で連携することにより家族の不安や心配を取り除き、いつでも相談できる環境を整えます。	移行支援	家族の理解をとり、必要に応じて学校でのお子さんの様子を見学したり、学校の先生とお子さんの様子や支援方針について情報共有したりします。	
地域支援・地域連携		お子さんの通っている他の関係機関と情報共有するなどして連携を図ります。		職員の質の向上	研修及び各部門会議の内容等を毎月の会議やミーティングなどで全員に伝え、研修資料を基に勉強会を行います。
主な行事等		4月お花見 7月プール遊び 8月交流会 9月秋まつり、敬老会(さざんか園慰問) 10月ハロウィーンパーティー、遠足 11月運動会、 12月クリスマス会(さざんか園慰問) 1月もちつき大会 3月遠足(親子参加)、卒業式 ・毎月…書道教室・子ども食堂など			